

間違えたかなと思ったら

今日は、テレビドラマで西郷どん（せごどん）という連続番組がありますが、その主人公である西郷隆盛にまつわることで、最近読んだ本の内容からお話をしたいと思います。

西郷隆盛は皆さんもご存じのように。幕末から明治維新にかけて活躍した薩摩藩の武士だった一人ですね。また、物語などでは、大変人望のある人だったと言われています。

その西郷さんが言った言葉に、「^{あやまった}過ったと思ったら、一步先に踏みだせ」というのがあります。「^{あやまった}過ったとき、失敗したとき、その“後”の行動が大切」ということです。

例えば、滅多に遅刻をしていなかった人が、遅刻したとしましょう。遅刻してしまったことをあれこれ考えても、遅刻をしなかったことにはなりません。一步先に踏みだし、最善を尽くすことしかできないのです。

また、試合でミスをしてしまったとしましょう。ミスをする前には戻れません。そこからできる最善を尽くすことしかできません。

ラインやツイッターで発した言葉は、元に戻すことはできません。もちろん、このような内容を書き込まないことの方が重要です。

その場合、さらに進んで今後最善を尽くすしかないんです。そこで、一番大切なのは何かといいますと、^{あやまち}過ちを認めて、一步先に踏みだし、最善を尽くそうと思う“心”です。

心は相手にも伝わります。遅刻しちゃったけど、まあいいや。という心も伝わってしまいます。遅刻したことをばんかいしようとして一生懸命だなんていうのも、ちゃんと伝わりますね。

立ち止まらず、^{おび}怯えず、^{やみくも}闇雲に考えず、まず一步踏みだすことが大切です。

今日の講話は以上です。皆さんの日ごろの生活の振り返りに、役立ててみてください。